

文20 その山は、①ここに②たとへ③ば、
比叡の山を二十ばかり重ね上げ
④たら⑤む⑥ほとして、⑦なりは
塩尻のやうに⑧なむありける。

問一 傍線部①はどこを指すか。こ
の文は物語の語り手が述べて
いる文で、物語の語り手は京
に住んでいることをふまえて
答えよ。また、比叡の山は京
にある山である。

ア富士山の周辺 イ京 ウ東国

問二 傍線部②「たとへ」の終止形
は「たとふ」で、「ず」をつ
けると「たとへず」になり、
「ず」の上がエ段になるので、
下二段活用（エ—エ—ウ—ウ—
ウれ—エよ）である。この「た
とへ」の活用形として考えら
れるものを次の中から二つ選
べ。

ア未然 イ連用 ウ終止 エ連体
オ已然 カ命令

文20 その山は、^①ここに^②たとへ^③ば、
^④比叡の山を二十ばかり重ね上げ
^⑤たら^⑥む^⑦ほ^⑧として、^⑦なりは
塩尻のやうに^⑧なむありける。

問三 傍線部②の「ば」は次の三つ
の訳を持つ。この場合はど
れ？

アもしくならば

※未然形＋「ば」

イゝので

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事が原因で、

「ば」の下が出来事が起こった。

ウゝするとゝゝしたところ

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事のあと、

「ば」の下が出来事が

たまたまが起こった。

文20 その山は、①ここに②たとへ③ば、
④比叡の山を二十ばかり重ね上げ
たら⑤む⑥ほどして、⑦なりは
塩尻のやうに⑧なむありける。

問四 傍線部④の「たら」は終止形
に直すと「たり」で、完了の
助動詞である。次の二つの意
味を持つ。ここではどちら？

ア完了（くしてしまった・くた）

※くの瞬間に注目

イ存続（くている・くである）

※くの後の状態に注目

文20 その山は、^①ここに^②たとへ^③ば、
^④比叡の山を二十ばかり重ね上げ
たら^⑤む^⑥ほどして、^⑦なりは
塩尻のやうに^⑧なむありける。

問五

傍線部⑤「む」意味はどれ？
※傍線部⑥「ほど」は名詞。

◎「む」＋「名詞か名詞省略」

ア仮定（としたら）

検討してる

例 僧になさむ「こと」は苦し。

イ婉曲（訳不要）

検討してない

例 し出さむ「こと」を待つ。

※柔らかにするための「む」

◎「む」（下には名詞は絶対来ない）

提案してない

自分以外の未来

ウ推量（だろう）

例 雨降らむ。

エ意志（しよう）

例 我肉食はむ。

自分の未来

※「むとす」はウかエだが、

この見分け方は使えない。

提案している

才勧誘（したらどうか）

相手あり

例 一郎、花を見てこそ帰らめ。

力適当（のがよい）

相手なし

例 子はなくてありなむ。

文20 その山は、^①ここに^②たとへ^③ば、
^④比叡の山を^⑤二十ばかり^⑥重ね上げ
たら^⑦む^⑧ほ^⑦として、^⑦なりは
塩尻のやうに^⑧なむありける。

問六 傍線部⑦「なり」は次の二つ
の訳ができる。この場合はど
ちらか。

ア かたち イ 身なり・服装

問七 傍線部⑧の「なむ」について

(一)この語の意味は？

ア 強意 イ 疑問 ウ 反語

(二)この語があると文末は何形にな
るか。

ア未然 イ連用 ウ終止 エ連体
オ已然 カ命令

このページは空白ページです